

消費税率引上げ後の消費動向等 について（7月第3週）

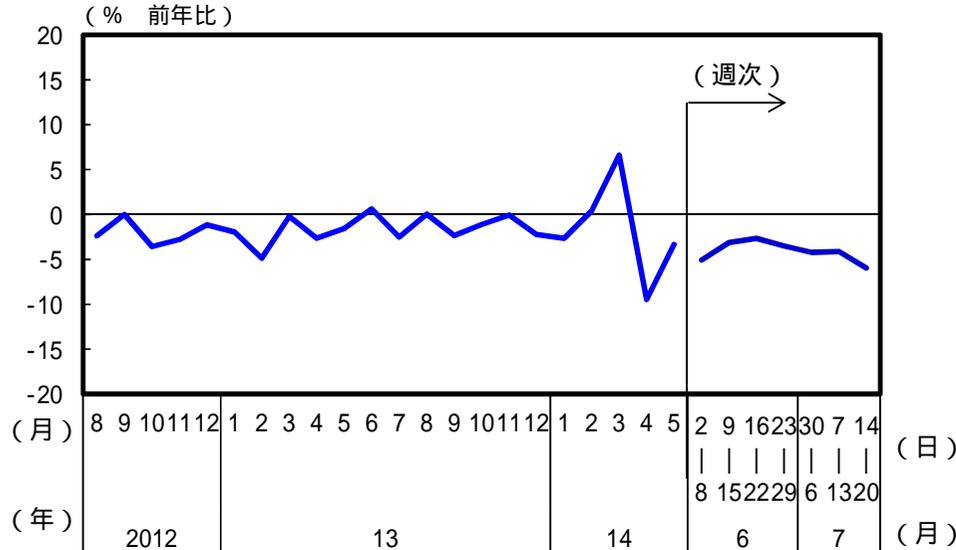
平成26年7月25日

内閣府

飲食料品・百貨店・サービス販売の動向

飲食料品は、7月第3週は、前年比約6%減と先週からマイナス幅が拡大。反動減から持ち直している、との声も聞かれる。

飲食料品（除く生鮮食品）販売金額（スーパー）（税抜）



(備考) 1. KSP (全国の食品スーパーマーケット販売実績を調査・集計) により作成。
 2. 加工食品、飲料・酒類、菓子類の3品目の合計。税抜き価格ベース。
 3. 既存店ベースのため、前年比が低めに出る傾向がある。
 4. 7月14日~20日のデータは、速報値。

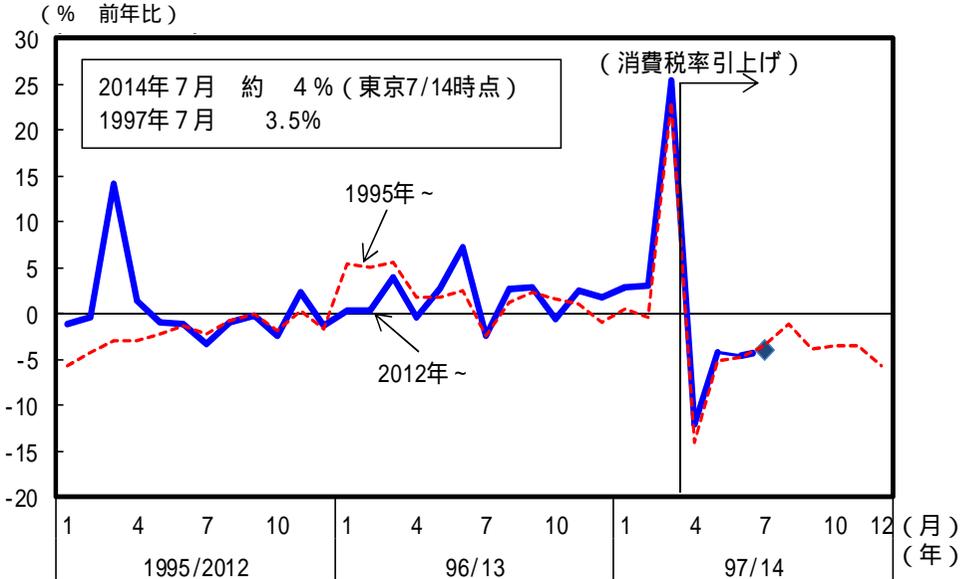
7月第3週の売上高の前年比は前週から微減。かき入れどきの日曜日の夕方に雷雨があったことで客足が鈍ったことが影響した。最近の売上高は、主に天候に左右されていることもあり、反動減からは持ち直している、と認識している。
【食品スーパー】

サービス消費は、旅行は、7月以降も堅調に推移するものとみられる。外食は、消費税率引上げの影響は軽微であり、7月第3週も引き続き堅調との声も。

先週は気温が低かったことから苦戦したものの、今週はプラスで推移。新商品や高価格帯商品の販売が好調となっている。
【外食チェーン】

大手百貨店の7月第3週の売上高は、前週に比べて前年比が改善した。クリアランスセールが後半戦に入り、好調に推移したことが寄与したとの声がある。

百貨店売上高（税抜、全店ベース）



(備考) 日本百貨店協会等により作成。2014年7月の値は東京7/14日時点の速報値。

7月第3週の売上高の前年比は、先週に比べて改善し、前年比プラスに転じた。7月後半のセール後半戦に向けた販促活動の影響もあり、クリアランスセールの売上が、この週は前年比プラスに転じた。宝飾品以外の品目が軒並み前年比プラス。
【百貨店A】

7月第3週の売上高の前年比は、先週に比べて改善した。この週から始まったクリアランスセールが好調であることが影響している。紳士服等では、まとめ買いなどで一人あたりの購入金額が高くなっているとの声もある。
【百貨店B】